

江別第一中学校 学校だより

純誠



教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活をもつ生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

令和2年 8月 7日号 第8号

明日から夏休み

江別市立江別第一中学校
校長 新田 元 紀

◎ 夏休み

今週は暑い日が続きました。北海道らしいカラッとした暑さではなく、ジメジメしてしまっていたから、40人前後の人がいる教室は大変だったと思います。

明日からは、例年と比較すると約半分の日数ですが、12日間の夏休みとなります。

夏休み前の集会などでは「思いっきり〇〇できるのが、夏休みだよ」と話すのが常だったのですが、今年はなかなかそう言えないのが辛いところです。

いつもより短く、また、新型コロナの影響があるとは言え、おそらくは生徒のほとんどが待ちに待った夏休みです。有意義な時間にしてほしいと思っています。

◎ 評定と通知表について

今年から、長期休業前の通知表配付をしないことにしました。

江別市は前期・後期の二期制ですから、本来は、前期の終わりに前期分の評定を記した通知表を配付し、卒業式・修了式に全期の評定を記した通知表を配付するのが普通の形です。そういった意味では、本来の形にしたということになります。

4回出していた通知表を2回にするのですから、もちろん、先生方の負担軽減ということになります。とりわけ、前期前半(4~7月)は運動会や旅行的行事、中体連の大会等があります。夏休み前の評定と通知表が先生方の大きな負担になっていたのは事実です。

ただ、理由はそれだけではありません。

一番大きな理由は、4~7月の4ヶ月弱、定期テスト1回では資料が少なく、生徒の実力を正當に評価した評定(各教科の1~5)が出づらいということです。特に、今年については4月5月と臨時休業でしたから、なおさらで、かなり窮屈で安定感のない評定になったことと思います。今までも、夏休み前の評定と前期の評定が大きく変わることがありました。

通知表の数字はもちろん大切です。その数字をあげるために努力しなければなりません。しかし、短いスパンの数字で一喜一憂するのは、あまりいいことではないと思っています。

◎ 3年生は…

通知表配付は、基本的に10月と3月の2回となりますが、3年生については、後期中間テスト後に、それまでの学習を評価した仮評定を出します。もちろん、その後の二者懇談・三者懇談で進路希望を決定するためです。

◎ ご家庭で話を

あったものがなくなるのは、生徒や保護者の皆さんにとって不安かもしれません。ただ、市内の中学校も同じ対応となってきています。ご理解ください。

学校の様子や、お子さんの様子は、各担任が個性あふれる学級だよりで伝えてくれています。担任との二者懇談も有効にご活用ください。

学習面は、生徒と担任の二者懇談で丁寧に話されています。その内容をご家庭でも話し合っただけければと思います。各教科で評定の出し方について説明していますので、評定は定期テスト等である程度予測できます。そのような話をする事で目標が定まることがあります。

もちろん分からないことがあれば、遠慮なく学校にご連絡を。